



## エアコンと携帯用扇風機が大活躍！でも事故で冷や汗はご勘弁 ～夏に知っておくべき危険～

### 1. 事故の発生状況

2016年から2020年の間にNITEに通知のあった製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、九州・沖縄8県でエアコンによる事故は合計34件<sup>※2</sup>ありました。

#### (1) 県別および年度別事故発生件数（表1）

表1 エアコンによる事故の県別および年度別事故発生件数（2016～2020年）

発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
2016年	2	0	2	1	0	0	2	1	8	
2017年	1	1	2	0	1	0	0	2	7	
2018年	3	0	0	0	0	0	1	2	6	
2019年	1	1	0	1	0	1	0	2	6	
2020年	4	0	1	1	0	0	0	1	7	
合計	事故件数	11	2	5	3	1	1	3	8	34
	火災件数	[11]	[2]	[5]	[3]	[1]	[1]	[2]	[7]	[32]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

#### (2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 エアコンによる事故の県別および被害状況別事故発生件数（2016～2020年）<sup>※3</sup>

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
人的被害	死亡	1	0	0	0	0	0	0	1	
	重傷	0	0	0	0	0	0	0	0	
	軽傷	1	0	0	0	0	0	0	1	
物的被害	拡大被害	7	2	4	2	0	1	1	5	22
	製品破損	2	0	1	1	1	0	2	3	9
被害なし	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	11	2	5	3	1	1	3	8	34	

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

## 2. エアコンの事故事例

(1) 2018 年 2 月（長崎県、年齢・性別不明、拡大被害）

### 【事故の内容】

エアコン室外機及び周辺を焼損する火災が発生した。

### 【事故の原因】

事故原因は、エアコン室外機の制御基板に小動物や埃・水分などの異物が侵入・付着したことによりトラッキングが発生し、発煙・発火したものと思われる。

(2) 2018 年 5 月（沖縄県、年齢・性別不明、製品破損）

### 【事故の内容】

公的施設でエアコンを使用中、エアコン室外機を焼損する火災が発生した。

### 【事故の原因】

エアコン室外機の長期使用（21 年）により、端子台の速結端子と内外連絡線の間で接触不良が生じて異常発熱し、端子間の絶縁性能が低下したため、速結端子間でトラッキング現象が発生し、出火したものと推定される。

## 3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITE のロゴ」としてください。

### （本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
九州支所 担当者 矢代

電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329